



3輪駆動キットROPSなし

Greensmaster® 3250-Dトラクションユニット

モデル番号 04477

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	-	機体についている車輪を取り外します。
3	必要なパーツはありません。	-	キャストフォークを改造します。
4	モータハブ・アセンブリ 潤滑フランジ 標準フランジ ベアリング ソケットヘッドねじ ロックナット1/2" 硬化ワッシャ スペーサ アダプタプレート 六角ヘッドボルト デカル	1 1 1 1 2 2 3 1 1 3 2	モータハブ・アセンブリを取り付けます。
5	タップねじ チューブクランプ カバープレート 六角頭ねじMB ロックナットMB ホース・アセンブリ95-0517 ホース・アセンブリ100-6412 ホースクランプブラケット ケーブルタイ	4 4 2 2 2 1 1 2 1	ホースを取り付けます。
6	必要なパーツはありません。	-	組み立てを完了します。



1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. バッテリーから、まずマイナスケーブルを外し、次にプラスケーブルを外す。

2

現在車体についている車輪を取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体が動かないように両方の前輪に輪止めを掛ける。
2. ジャッキかホイストを使用して、キャストフォークに溶接されているリング部でトラクションユニットの後部を持ち上げ、キャストフォークからタイヤアセンブリを取り外す。
3. 持ち上げた機体はフレームの適当な部分にジャッキスタンドをセットして支える。
4. タイヤアセンブリからホイールハブアセンブリを取り外す。
ラグナットは捨てないこと。
5. キャスタフォークからアダプタプレートを取り外す。

3

キャストフォークを改造する

シリアル番号が 269999999 以下のトラクションユニット

必要なパーツはありません。

手順

トラクションユニットのシリアル番号が 269999999 よりも小さい場合には、キャストホイールのフォークを改造する必要があります。改造には、弊社代理店から、ドリルガイドToro パーツ番号 112-0256-01を購入していただく必要があります。改造不要の場合には、「モータハブ・アセンブリを取り付ける」へ進んでください。

1. キャスタフォークの右側にドリルガイドを取り付けるボルト5/16 x 3"2本、ワッシャ4枚、ナット4個を使用する [図 1](#)。

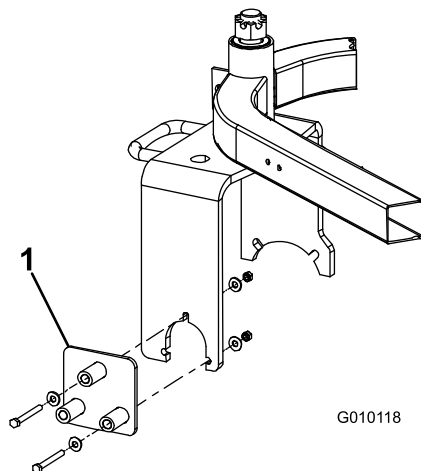


図 1

1. ドリルガイド
2. ドリルガイドに残っている穴を使って、キャストフォークの穴の直径を 14 mm に拡大する。

重要ドリルビット14mmは切れ味の良いものを使用してください。ドリル刃はゆっくり前進させてください。ドリルを押し力が強すぎるとジャミングを起こしますから注意してください。

3. 上記の手順によって、全部で3つの穴の拡大を行う。

4

モータハブ・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	モータハブ・アセンブリ
1	潤滑フランジレット
1	標準フランジレット
1	ベアリング
2	ソケットヘッドねじ
2	ロックナット1/2"
3	硬化ワッシャ
1	スペーサ
1	アダプタプレート
3	六角ヘッドボルト
2	デカル

手順

1. モータアセンブリの側面にフィッティング45°を2個取り付ける [図 2](#)。

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、フィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

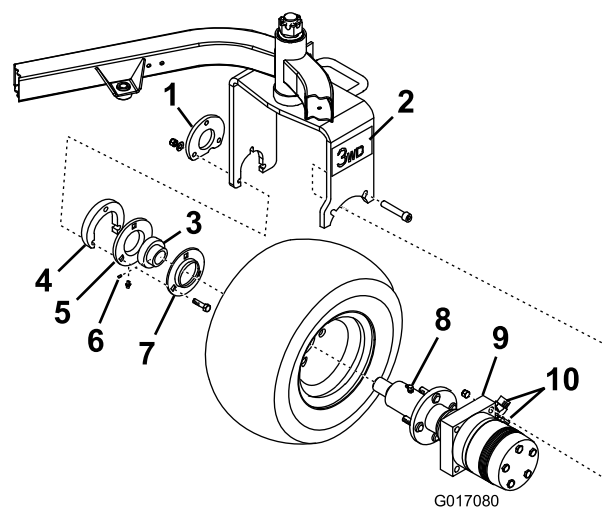


図 2

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. スペーサマウント | 6. 固定ねじ |
| 2. デカル2枚 | 7. 標準フランジレット |
| 3. ベアリング | 8. グリスフィッティング |
| 4. アダプタプレート | 9. モータハブ・アセンブリ |
| 5. 潤滑フランジレット | 10. 45° 油圧フィッティング |

2. 新しいモータハブ・アセンブリについているグリスフィッティングを外す [図 2](#)。

3. モータハブ・アセンブリにタイヤ・アセンブリを取り付けるラグナット4個先ほど取り外したものを再使用する。

注 ラグナットを 70 90 ft·lb. 95 122 N·m = 9.7 12.5 kg.m にトルク締めする。

4. ハブ・アセンブリにグリスフィッティングを取り付けるハブと反対側を向くように取り付けること。
5. フランジレット両方とベアリングを [図 2](#) のようにモータシャフトに取り付ける。
6. モータハブ、フランジレットとベアリング、アダプタプレート、タイヤ・アセンブリを、キャストフォークに取り付ける。

注 モータの向きに注意すること油圧フィッティングが機体後方を向いているのが正しい [図 2](#)。

7. キャスタフォークの内側に、モータを仮止めするソケットヘッドねじ 2 本とロックナット 2 個を使用する [図 2](#)。

注 各ナットを 100 ft·lb 135 N·m 13.8 kg.m にトルク締めする。

8. フランジレットの仮組み立てを行うベアリングと一緒にキャストフォークの内側で、六角ヘッドボルト 3/8 x 2-1/4 インチを3本、アダプタベアリングプレート、スペーサマウント、硬化ワッシャ3枚、ロックナット3/8 インチ 3個を使用する。

重要 モータシャフトに対して横方向半径方向から負荷が掛かっていないことを確認する。

注 グリスフィッティングは、フランジェットに下向きについている必要があります 図 2。

9. フランジェットねじを 40 ft-lb 55 N·m=5.5 kg.m にトルク締めする。

重要 上記の組み立て手順を正確に守らないと、モータのシールやベアリングが早期に磨耗する可能性があります。

10. ベアリング固定ねじに、ねじ山ロック用の接着剤 Loctite®などを塗る。

注 固定ねじを 80-100 in-lb 9-11 N·m = 0.9-1.1 kg.m にトルク締めする。

11. オーバーランニングベアリングの動きを確認するタイヤが前進方向に自由に回転するが、ホイールモータはタイヤが後退方向に回るときだけ接続するのが正しい。
12. トラクションユニットの後部を床面まで降下させる。
13. 全部のグリス注入部にNo.2汎用リチウム系グリスを注入する。
14. キャスタフォークの両側に 3 輪駆動デカルを貼り付ける 図 2。

5

ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	タップねじ
4	チューブクランプ
2	カバープレート
2	六角頭ねじMB
2	ロックナットMB
1	ホース・アセンブリ95-0517
1	ホース・アセンブリ100-6412
2	ホースクランプブラケット
1	ケーブルタイ

手順

1. ポンプの上側ホースを外して、油圧オイルタンク内部のオイルをすべて抜き取る 図 3。

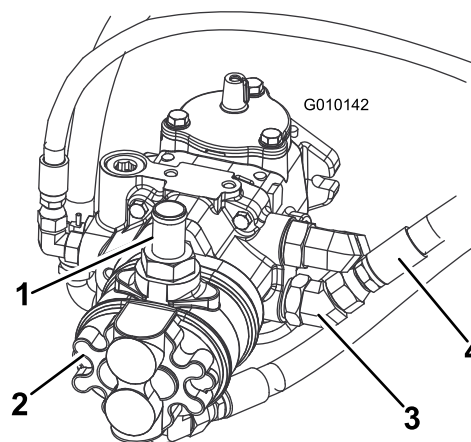


図 3

1. 上側ホース
2. ポンプ
3. 45° フィッティング
4. 下側ホース

g010142

2. オイルが抜けたらホースを元通りに取り付ける。

注 油圧システムの容量は約 33 リットルとなります。

重要 抜いたオイルを再使用する場合には、オイルに異物を入れないように十分に注意してください。ごくわずかの異物が侵入しても、油圧システムに重大な障害が発生します。

3. 図 4 に示された位置と寸法で、右側フレームチューブに、直径 7 mm の穴を 4 ヶ所あける。

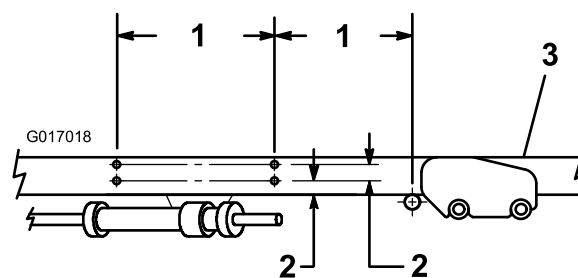


図 4

1. 11 インチ 279 mm +/- 1/4
2. 1 インチ 25.4 mm +/- 1/16
3. 右側フレームチューブ

g017018

4. タップねじ4本を使って、ホースクランプブラケット・アセンブリチューブクランプ、カバープレート、クランプブラケット、六角ヘッドねじ、ロックナットを、フレームに取り付ける 図 5。

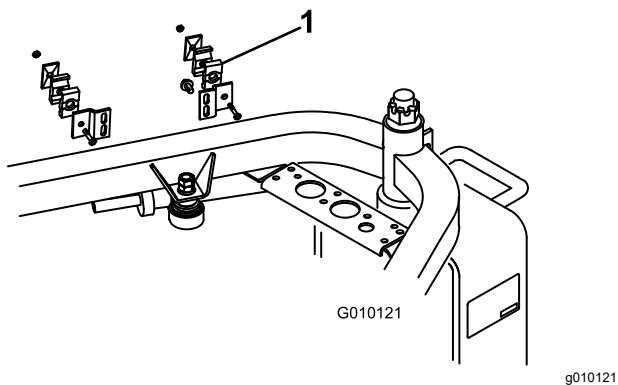


図 5

1. ホースクランプブラケット

5. ハイドロスタットの下側についているホースを外し図 6、前輪モータへ続く上側のバルクヘッドの T 字フィッティングからも外す図 7。

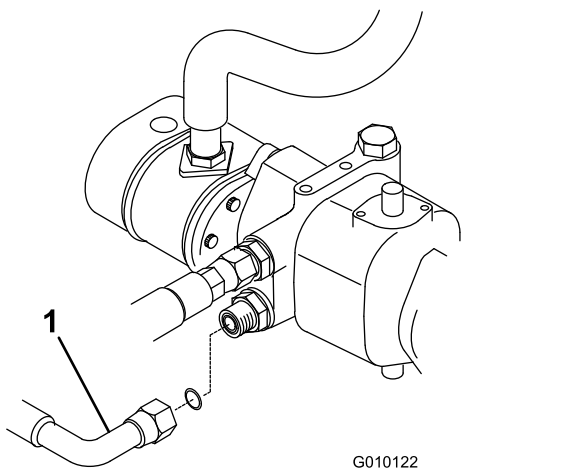


図 6

1. ハイドロスタットホース上側

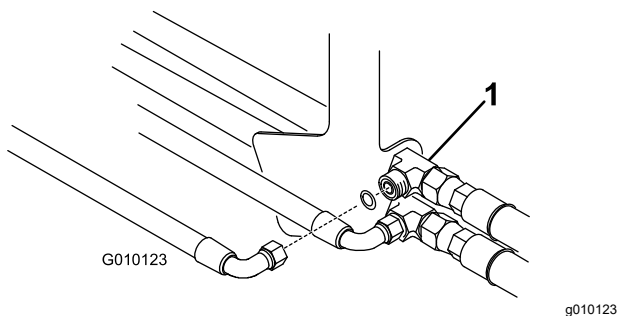


図 7

1. バルクヘッド上側の T 字フィッティング

注 取り外した下側ハイドロスタットホースは廃棄する。

6. ハイドロスタットの下側ポートに、新しい油圧ホース一番短いものの 90°フィッティング部分を接続する。

7. ホースをホースクランプの下側部分に通し、キャスタフォークの後ろを通して、後輪モータの下側ポートに接続する。

注 下側ホースの端部を水平に取り付ける図 8。

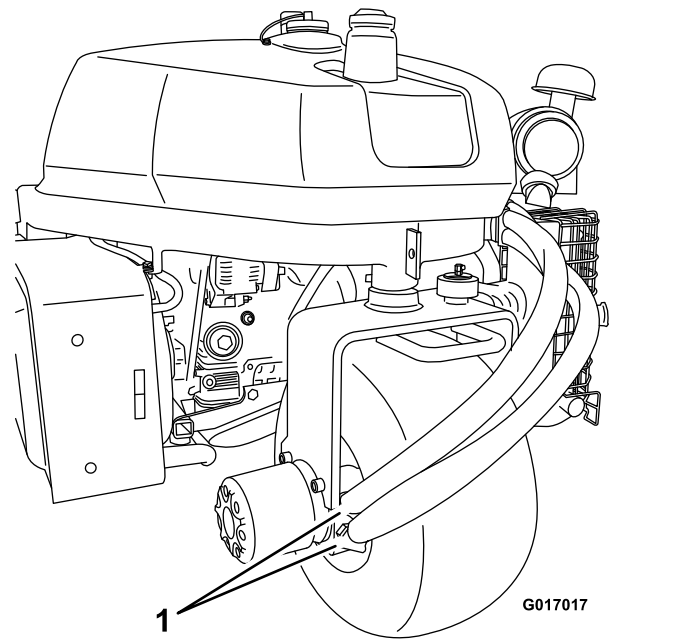


図 8

1. 下側ホースの端部

8. ホース端部をフィッティングに固定する。

注 締め付け時にホースをねじってしまわないように、レンチで押えておいてください。

9. ケーブルタイを使って、機体後部でホースをまとめて固定する。
10. ステアリングフォークを左右一杯に動かして、ホースが適切に曲がりながら追従することを確認する。

注 ホースがタイヤや、リム、タンク、ステアリングフォーク、ステアリングホースに接触してはいけない。

注 油圧ホースが、ねじれたり、折れたり、鋭角的に曲げられたり、鋭利な部分や可動部分に接触したり、エンジンの排気部に触れたりしていないことを確認してください。

11. ホースをブラケットに固定する。

注 ホースクランプブラケットは、縦長の穴になっていて調整することができます。

12. 全部のグリスフィッティングに、No.2リチウム系グリスを注入する。

6

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

1. 油圧オイルの量を点検するトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
2. バッテリーケーブルプラスをバッテリーに接続する。
3. バッテリーケーブルマイナスをバッテリーに接続する。
4. エンジンを掛ける。
5. トラクションユニットの走行や昇降シリンダの操作を何回か行って油圧システム内部のエアをパーズする。
6. 油圧オイルの量を点検する。

メモ



Count on it.